



平成 25 年 5 月 9 日

各 位

タ ッ タ 電 線 株 式 会 社
(代表者名) 取締役社長 木村 政信
(コード番号 5809 東証・大証第1部)
(問合せ先) 常務取締役 総務部 経理・財務担当部長 松本 一郎
TEL (06) 6721-3011 (代表)

特別損失の計上及び業績予想との差異に関するお知らせ

平成 25 年 3 月期 (平成 24 年 4 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日) 連結決算における主要な特別損失の発生状況と平成 25 年 2 月 1 日に公表した平成 25 年 3 月期連結業績予想と本日公表した実績値の差異についてお知らせいたします。

1. 特別損失の計上

(1) 減損損失の計上

保有する資産のうち、収益性の低下が継続しているフォトエレクトロニクス事業資産について、今後の事業環境及び今後の見通しを勘案した結果、当第 4 四半期末において、「固定資産の減損に係る会計基準」にもとづき、減損損失 1 億 1 千 7 百万円を計上しました。この結果、当連結会計年度通期累計では減損損失は、当第 3 四半期に計上した厚生施設の減損損失 1 億 9 千 2 百万円を含め 3 億 9 百万円となります。

(2) 環境対策引当金 (PCB 処理費用) の増額

当第 3 四半期において、合理的な見積もりが可能となった PCB 廃棄物の処理費用について、7 千 3 百万円を環境対策引当金に計上しましたが、精査の結果、当第 4 四半期において更に 2 千 8 百万円追加計上しました。これにより当連結会計年度通期累計では 1 億 1 百万円となります。

(3) 事業構造改善費用の計上額の増額

電線事業の構造改革に伴う費用として 5 億円を予定 (平成 25 年 2 月 1 日公表) しておりましたが 8 千 7 百万円増額し、5 億 8 千 7 百万円を計上しました。

2. 平成 25 年 3 月期通期累計期間 (平成 24 年 4 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日) 連結業績予想と実績との差異

(単位: 百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当り当期純利益
前回発表予想 (A) (平成 25 年 2 月 1 日発表)	45,200	5,200	5,300	2,600	40 円 76 銭
実績 (B)	46,411	5,580	5,859	2,780	43 円 59 銭
増減額 (B-A)	1,211	380	559	180	—
増減率 (%)	2.7%	7.3%	10.5%	6.9%	—
(ご参考) 前期実績	45,809	3,346	3,347	1,877	29 円 43 銭

連結業績予想と実績との差異の理由

主として、スマートフォンやタブレット PC 向けの電子材料需要の増加により売上高、営業利益は前回予想を上回りました。経常利益は、営業利益の増加に加え貸倒引当金戻入額の増加により前回予想を上回りました。また、減損損失や事業構造改善費用等の計上増により特別損失が増加しましたが、経常利益の増加がこれを上回ることで、当期純利益についても前回予想を上回りました。

以 上